



なんでも進んで学ぶ子ども

ひとと仲よく助け合う子ども

2025年11月号

がまん強くやり抜く子ども

さわやかな笑顔の元気な子ども

(文責：校長 舟木志郎)



■小中学校連合音楽会■ 5年・6年が、市民会館大ホールで合唱と演奏を繰り広げました。2学期に入り、運動会の練習と並行して練習を積み重ねてきました。朝の登校で鍵盤ハーモニカを手にしている児童も多くいて、家庭でも練習をしていた様子がうかがえました。「緊張した」「うまくできてよかった」「もっとできると思っていた」などと、一つの課題を気持ちに合わせて乗り越えた児童の姿に、力強さも感じました。前日には、1から4年生の前で「壮行演奏会」を行いました。下級生たちは5・6年生の合唱と演奏に聞き入りながら応援をしていました。



■「理科読」■



今年から中谷財団という団体から補助金をいただき、「理科読」のプログラムに取り組んでいます。これは、図書の読み聞かせと実験・実習を組み合わせることで、子どもの探究心を育むことをめざしています。補助金で、授業で使う材料や器具だけでなく、高額な備品や図書を購入したり、専門の先生に来ていただいたりすることができました。大田小学校との協同実施で、3年間の実施を計画しています。



10月に、6年生「大地をつくるもの」、4年生「水の不思議」の授業を専門の先生に指導していただきました。

6年生は大田小学校と合同で「立神岩」の地層や小豆原埋没林公園の標本の見学を行い、一緒に振り返りの活動を行いました。4年生は、水の三つの姿、液体[水]・固体[氷]・気体[水蒸気]を実験と図書の物語と関連付けながら観察しました。また、物を溶かす、運ぶ[マブリングによるにじみづくり]という実験と観察を行いました。

ここで生まれた疑問や探究心を大切にして、読書活動につながっていくことを期待しています。



■箱ずしづくり■



3年生が JA 女性部の皆様のご指導で、箱寿司づくりに挑戦しました。この日は、7人の方にお世話になり、各班に付きっきりで指導していただきました。薄焼き玉子をつくり、具材や酢飯と重ねて箱に詰め、重石をしてならします。その間に3年生の学習の発表を聞いていただきました。3年生は、地域で栽培が盛んな「アスパラガス」についての学習を続けており、一人一人がセリフを大事にしながら発表しました。箱ずしの付け合わせにもアスパラガスを使い、皆さんとおしくいただきました。

■1年生秋みつけ■ 地域コーディネーターの山本さんや3名の地域の方にお世話になり、1年生が秋を見つけに学校の周りの道を歩きました。途中「ふすま」も見



せてもらい、ふかふかした感触に子どもたちは興味深く触っていました。ドングリなどを見つけると歓声をあげ拾います。中には、友だちと分けっこをする姿もありました。松の木が少なく、「松ぼっくりがない」と残念がる声も。学校の駐車場に松があり、松ぼっくりも落ちているのですが、そこには気づいていないのかもしれませんが。地域の皆様のご配慮でたくさん拾うことができ、満足そうでした。どんな工作の作品となるか楽しみです。

■租税教育で感謝状をいただきました■ 6年生は社会科や、税務署などが行う「租税教室」で、税について学習をしています。また、「税の絵葉書」の作品作りに取り組み、コンクールに応募しています。



この度、「広島国税局長賞(感謝状)」として長久小学校が表彰されました。これは、今年の取り組みが評価されたのではなく、今までの職員や児童の取り組みの積み重ねが生んだ成果だと思えます。これまでの取り組みをつなげてきた職員の皆さんや、熱心に学習や作品作りに取り組んできた児童の皆さんに感謝です。児童への指導で、「今」頑張ることを大切にしていますが、今の頑張りが自分自身に生きるだけでなく、次の学年、将来の児童にもつながっていくことを考えさせることも大切にしていきたいと思えます。

■11月13日■ 11月は、語呂がよく、たくさんの記念日や〇〇の日があります。11月13日は、11[いい]1[I とみてアイ]3[サ]つの日、いいあいさつの日、だそうです。時間が許す限り、昇降口で子どもたちを迎え挨拶の声をかけています。進んでしてくる子、挨拶を返してくれる子、声は聞こえませんが頭をペコリと下げる子、まったく反応のない子…、様々ですが、最近挨拶を返してくれる子が増えてきたように思います。挨拶をする、当たり前なことが当たり前でできることをうれしく思っています。

一部の画像は鮮明度を加工しています

ご意見感想をお寄せください mail : to-nagahisas51@ed.iwamigin.jp
学校 HP にも掲載しています

大田市立長久小学校

検索